



いまいは  
今

vol. 294

発行 今井町町並み保存会  
発行日 令和6年12月1日  
電話 0744-22-1128  
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/  
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp  
◇ご意見・ご感想は  
今井景観支援センターまで

### 2024 はならあと 4地区のトップで

#### 檀原・今井エリア開催

「地球に優しいエコロジカルな芸術祭」を  
標榜する「奈良・町家の芸術祭・はならあと」  
とが今年も奈良県下4地区で開催されま  
した。

そのトップを切って今井エリアでは10月  
23日(水)から27日(日)まで当保存会主  
催行事として5日間開催しました。

テーマは、「日本一の重伝建の町家群が  
新たな一歩を！」で、はならあとの目標の  
一つである地元まちづくり団体主催の運  
営による地域力向上を目指しています。本  
年は、昨年同様インフォメーションとサステ  
ナブル講座会場を阿伽陀屋若林亭に設置  
し、三会場で開催しました。

気候が秋らしくなってきたからの開催となり、  
加えて26・27日両日は春日神社の秋祭り  
と重なった為に、延べ来場者数は2614  
人に達しました。



中町通生活広場  
藤田千代  
「日々の暮らしに絵の喜びを」

北町生活広場  
坂野真子  
「インスタレーション」



今井町景観支援センター  
六車紀子  
「暮らしの生け花」  
（橋佳「イラスト」）  
（26日午後「テルミン演奏」）

### 好天に恵まれて

#### 秋祭り開催!! 春日神社

春日神社の例大祭が10月26日(宵宮)  
27日(本宮)の2日にわたって開催。26日  
は午前には式典の後、午後からは秋祭り以最  
も脚光を浴びるだんじり2台が今井町内  
を曳行。



春日神社境内の演芸大会



御堂筋を東から西へ進むだんじり

夜は1台のみ曳行、19時からは神社境  
内の特設舞台で今井町演芸大会が開かれ、  
ハワイアンダンス、居合演武、カラオケ大  
会等が行われました。境内の数軒の出店  
が祭りの雰囲気を感じ上げ中、子供達  
が楽しみにしているビンゴゲームで参観者  
の熱気が最高潮に達しました。  
27日は、朝8時から式典。だんじりは兵  
部町まで曳行。昼食は集会所前で参加者  
に焼きそばとカレーが振る舞われました。  
午後1時にはだんじりショーが披露され、  
その後2台のだんじりは再び町内を曳行  
し、4時に宮入しました。



の前には、のりや華やかに  
所では、だんじりや  
集約した、カラーが  
地区の、だんじり、ま  
今井地区集会所の前  
だんじり2台の向かい  
向かいのクラッパが  
飛び交い

## 第47回 全国町並みゼミ東京大会参加報告

事務局長 田原勝則

10月26日、7日の2日間、今井町の秋祭りと同時期に『まちなみはみんなのもの』から50年 町並みが未来をひらく』をテーマに、全国町並みゼミ東京大会が東京墨田区の千葉大学墨田サテライトキャンパスで開催されました。全国から約180人が参加し今井町並み保存会からは、若林、大橋、阪本、田原の4人が参加しました。

私たち今井町、そして有松、妻籠の保存に取り組む団体が集まり、町並み保存連盟を結成してから今年で50年目の節目となる開催となりました。

大会開催前の午前中に「八島花まちあるきツアー」が催され、八島花文化財団の方の案内により京島を歩きました。この地域は多くの長屋と路地が混在している下町として知られており、まち歩きでは彼らが仲介し店舗等として活用されている長屋を案内していただきました。

午後は大会開会のセレモニーの後、基調講演と50周年記念トークの構成で、基調講演の最初は明治大学の山本俊哉教授が「東京・向島の町並みの歴史」と題し、東京向島の町並み(路地と長屋)の形成史について話がありました。向島とは「隅田川の向こうの島」という意味で、江戸時代の行

楽地、田園地帯であった地域です。関東大震災後の復興計画を経て、木造密集地域が形成されました。この地域は太平洋戦争の空襲の被害がなく、路地と長屋が立ち並び非常に狭隘で災害上問題のある街並みとなっており、問題解消のため、防災拠点再開発計画等の事業が実施されていますが、住民の反発により中止となった事業もあり、その後、モデル事業とし防災拠点設置、住宅の防災性能の向上など基準を強化する取り組みが行われています。

続いて八島花文化

財団代表理事の後  
藤大輝氏から「墨

田・向島における長  
屋承継の取り組み」

と題して彼らの活動  
内容について基調講

演がありました。



向島・京島のまち歩き

後藤氏は2008年に京島に移り住みました。活動のきっかけは、一軒の長屋の情報をお願い、自分たちで再生したことからです。それ以降、長屋の情報を集め、それを借り、再生し、所有者と借り手の間に入りシェアハウス、店舗などとして貸す中間管理事業を行っています。現在はそれが30軒程度となっており、建物としての「長屋」から文化としての「長屋」を目指しています。

来月号では「全国町並み保存連盟50周

年記念トーク」について報告する予定です。



財団文化後藤大輝氏の  
八島花代表理事基調講演

晩秋の肌寒さの中で

まちづくり亭今井寄席 開催

11月16日(土)、19時から本町の今井まちや館において当保存会主催の「まちづくり亭今井寄席」が開催されました。

奈良大学落語研究会「古都家」一門の4人の学生さんが、日頃の稽古の成果を今井町の落語愛好家の皆さんに披露しました。当日は、日中ぐずつき気味の天候でしたが、夕方には雨も上がり、寒さが身に迫まる感じでした。学生さん達の若々しい元気な語り口に約20人の聴衆は時のたつのを忘れて楽しいひと時を過ごしました。



まちや館入り口



4人の演者